



N I T R O

中 学 生 編

MY HERO ACADEMIA FANBOOK VOL.08  
IZUKU MIDORIYA x KATSUKI BAKUGO

R18



僕たちはあの頃 いつも一緒だった



3  
年  
前









痛ッ

だって だって  
かっちゃん  
と 離れちゃうよ

デクてめえ  
弱虫か！  
泣くんじゃねえ



じゅっ



くすくす

あーあー  
できる  
できる  
落ち着けて

かっちゃん  
はま

ほんと？  
今まで通り  
一緒に帰って  
お昼寝できる  
かな？

離れるわけ  
ねえだろが  
同じクラスで  
席は並びだろ



強い  
かっちゃん  
と  
弱い  
僕の  
新しい  
生活





「強い個性」と  
「無個性」なんだと  
いうことを

いやが応にも思い知らされる



嫌だよ  
かつちゃん

カツキ

爆豪くん  
頑張れ！



置いていかないで

はなれたくない

ワア：  
すげえ！

かつちゃん

僕は

カツキ  
やるう





君のそばに



BOOM







はあ

ほかほか

ほれ

...



なんだ？

あつたかいの  
好きだろうが  
お前



このままじゃ駄目だ

う...うん  
そうだね

かつちゃん  
僕は

ありがとう  
嬉しいよ  
かつちゃん



君のとなりに 並びたい



爆破する元は  
肉体から  
分泌されるもの

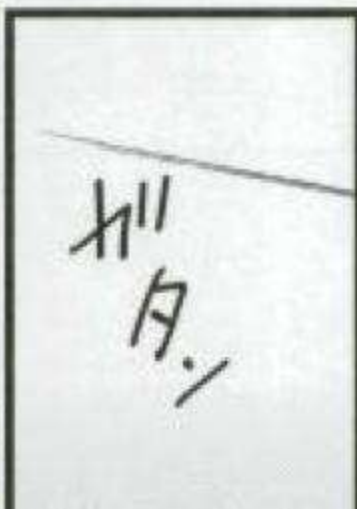
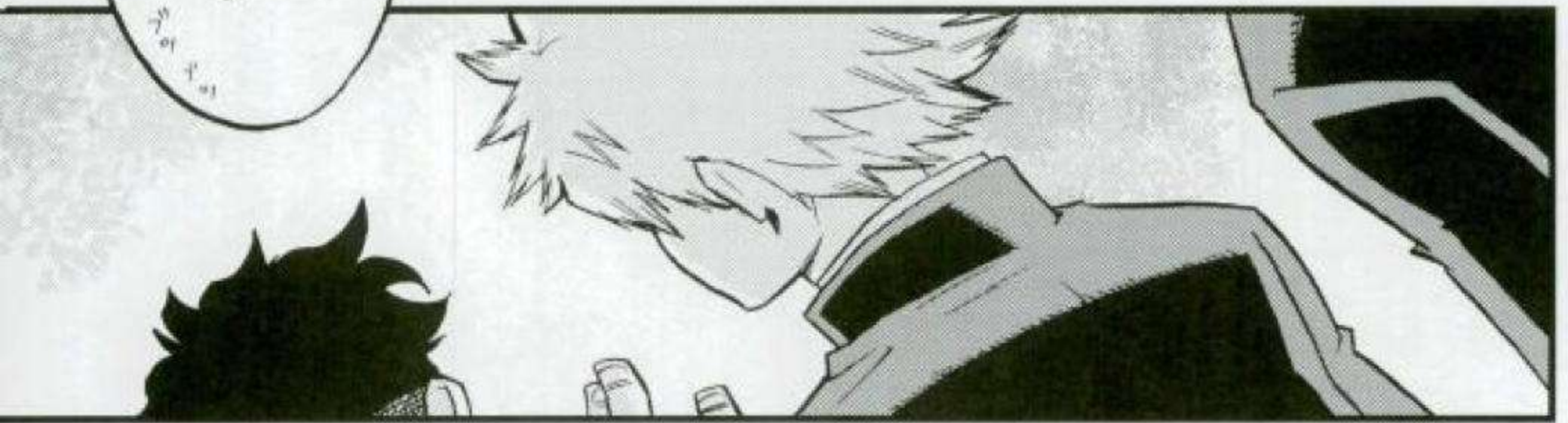
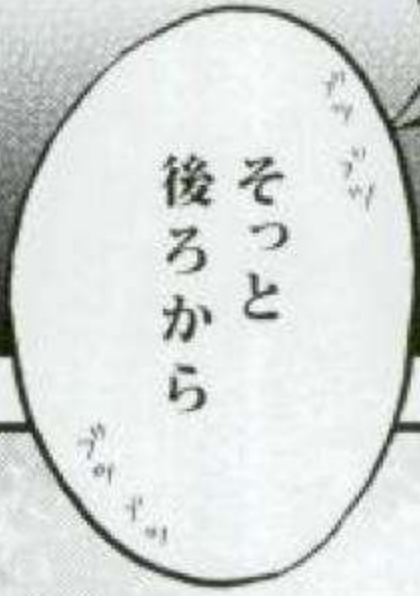
掌から  
噴き出す爆発

つまり  
かつちゃんの場合  
は汗だ

つまり原料と  
その反応から  
起こると考え  
られるわけで

じゃあ発汗量によって  
その爆破の威力は  
かわる？そもそも  
掌の汗をどうやって





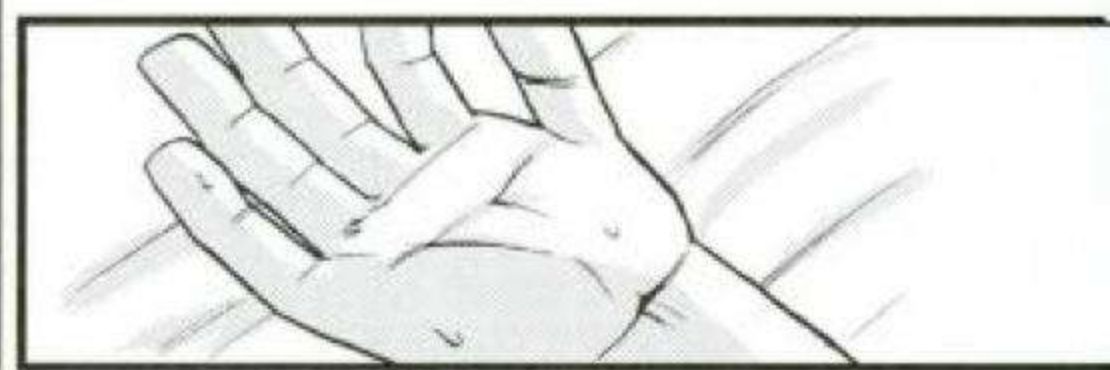




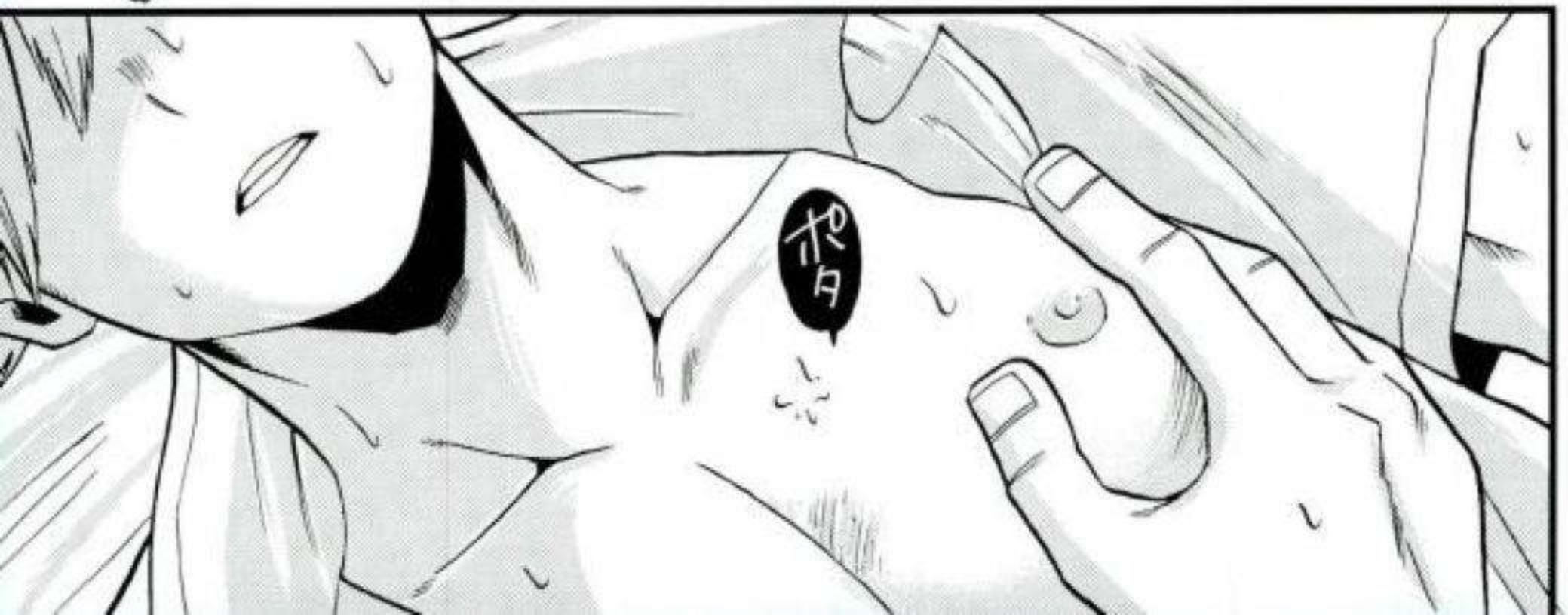
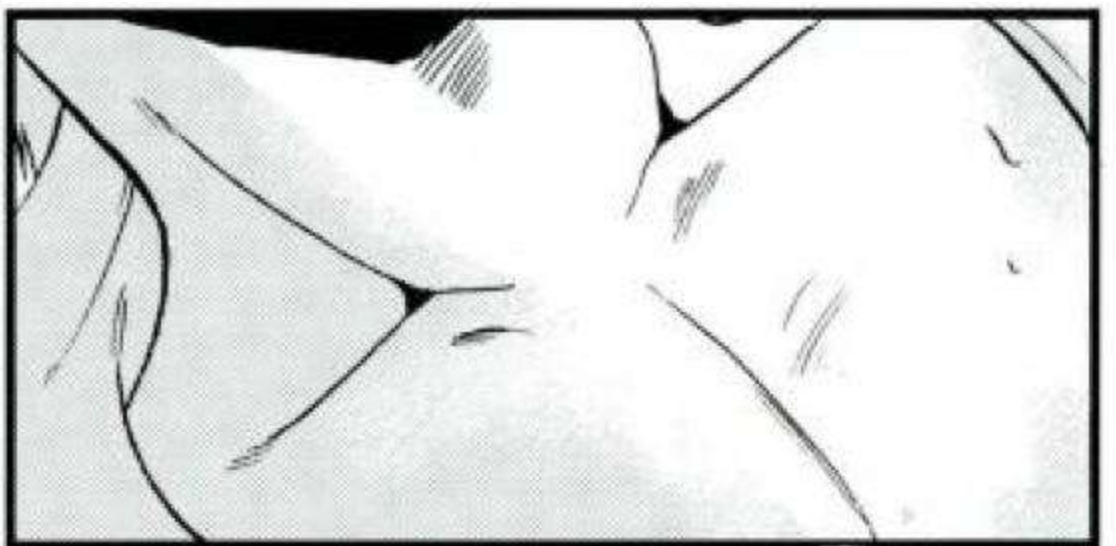
























かつちゃんを  
知りたいうって  
気持ちか

抑えられなく  
なってきたる

キィ

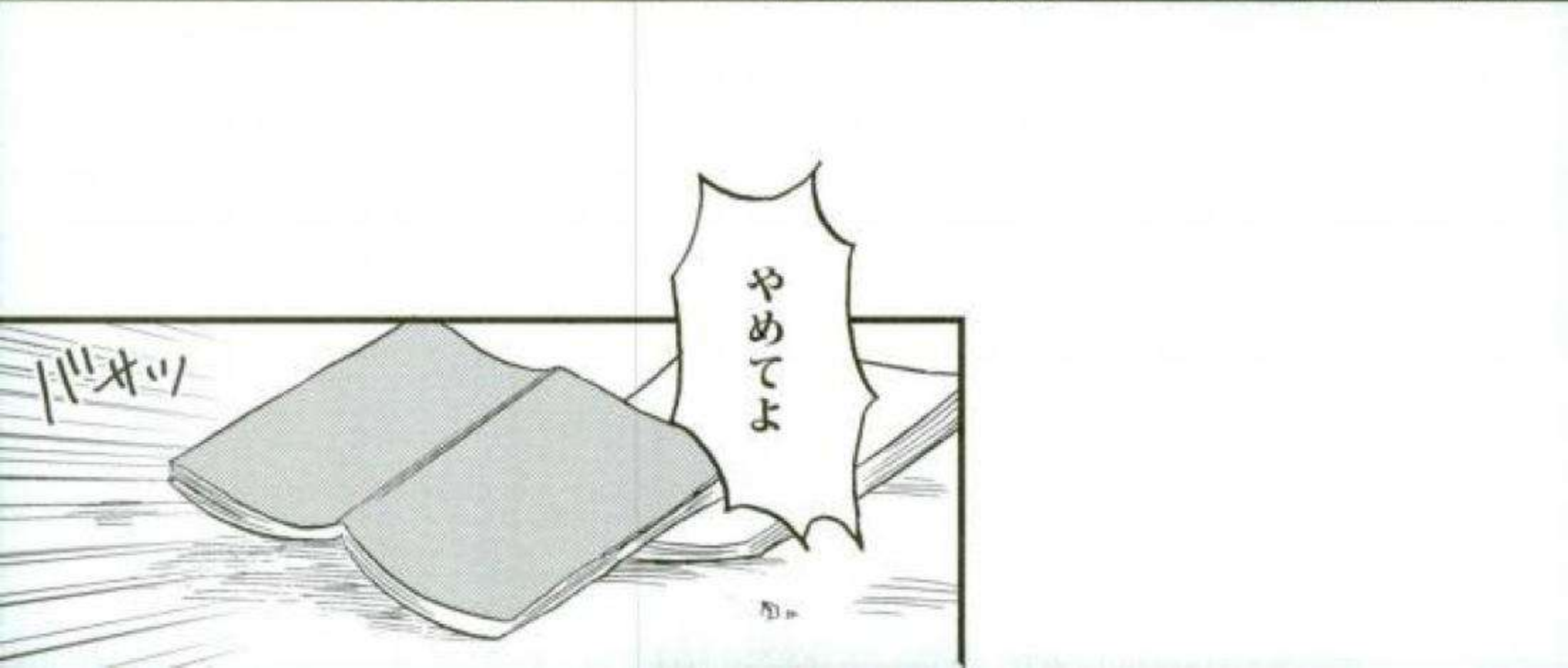
はあ

ほっ

そして何より  
あの時僕が  
何していたか  
かつちゃんは



気づいてた  
反応してた



やめてよ

ワッ









かつちゃん  
だって無個性の  
僕を…  
本当はバカに  
してるじゃ  
ないか

なのになぜ  
かつちゃんにしか  
言っちゃ駄目  
なんだよ

同じ夢をつつくと現れる 俺の知らない 力強い眼のデク



かつちゃん  
僕はもう

お前はいつたい誰なんだ？

君の後ろは  
嫌なんだ





僕は  
かつちゃんの

かつちゃん  
のとな..  
ちよっ

ああ?

ソク

ソク

デク  
...てめえ

クソッ  
何なんだこれ

出て来い

出て来い 出て来い



お前いい加減に  
身をわきまえろよ

この没個性  
どころか  
無個性野郎の

お前も  
あの弱いデクも  
俺がつかまえて  
離さねえ

クソナードが

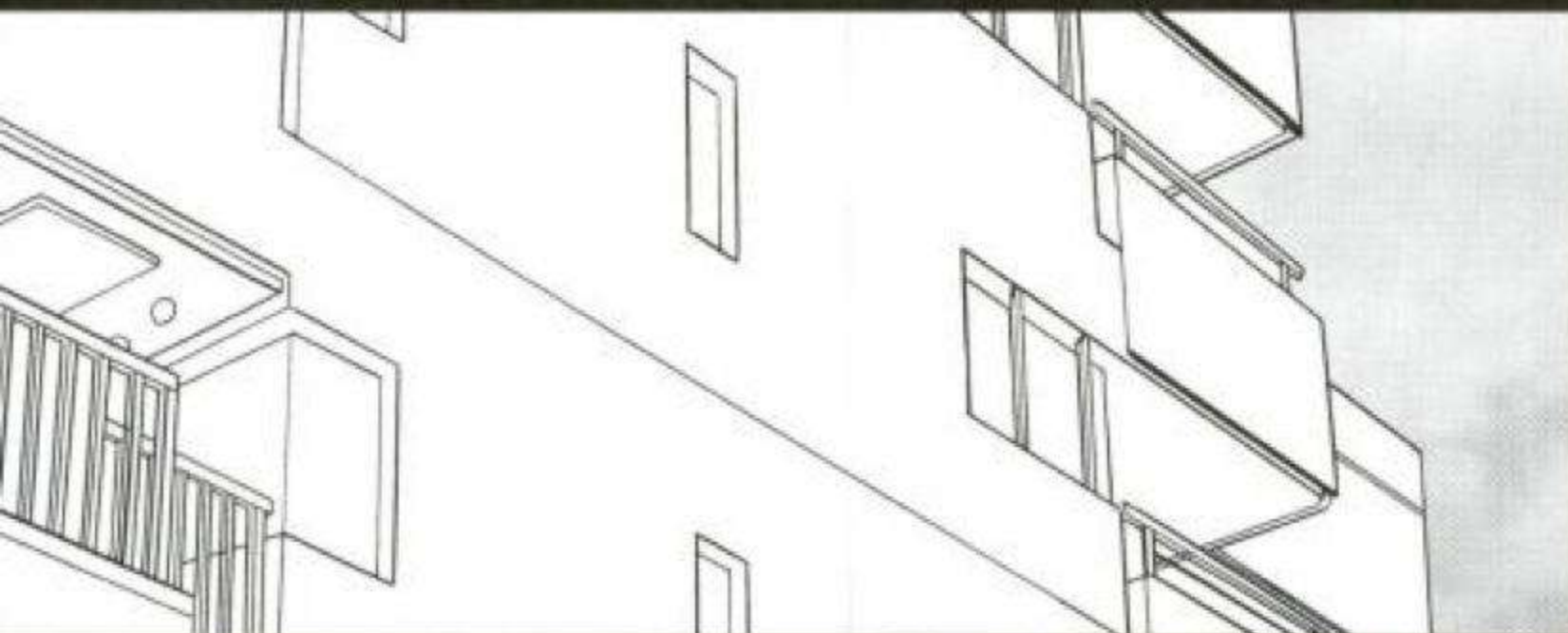


てめえ  
なにか

俺と同じ土俵に  
立てるわけなんか  
ねえだろ

出てこないなら 引きずり出して支配してやる

















てめえ  
この前も

俺の身体  
触ってたろ



え?!  
ぼ、僕が?  
そんな...

そんな  
こと  
えっと  
その



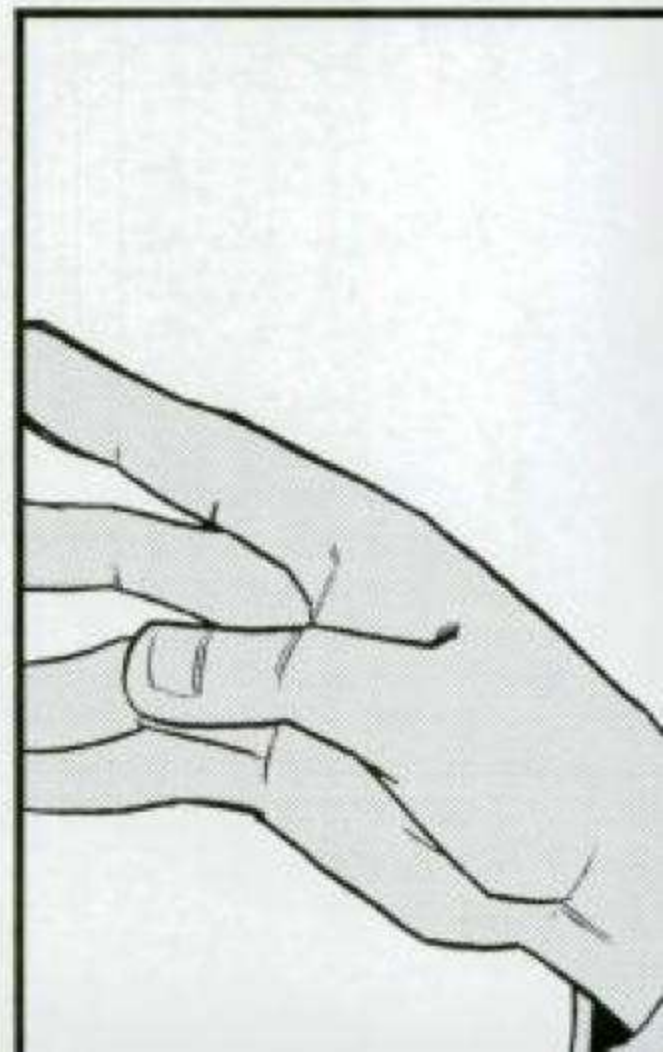
え?  
えと...  
違う方  
って?

かつちゃん?



...また  
違う方か

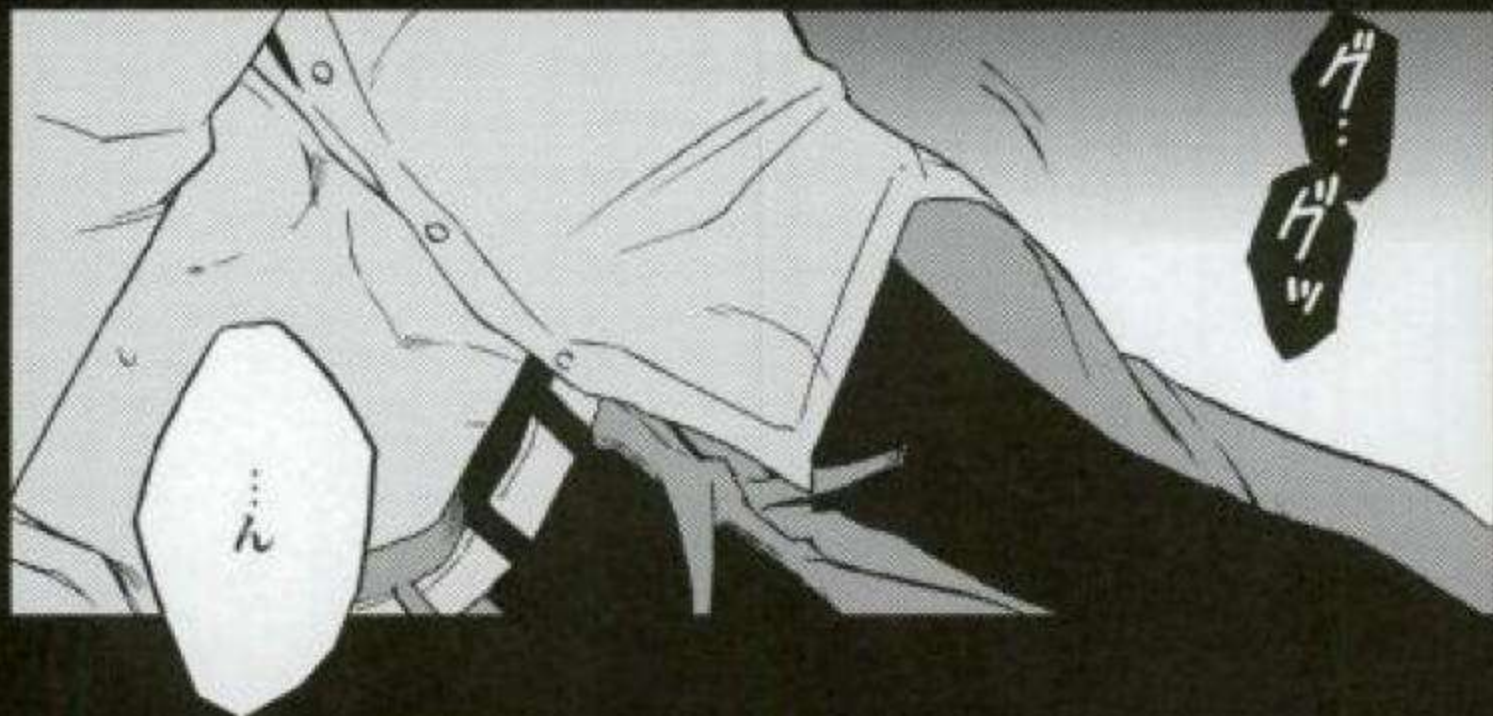
















ん...

...

アッ

ハイッ

はあッ

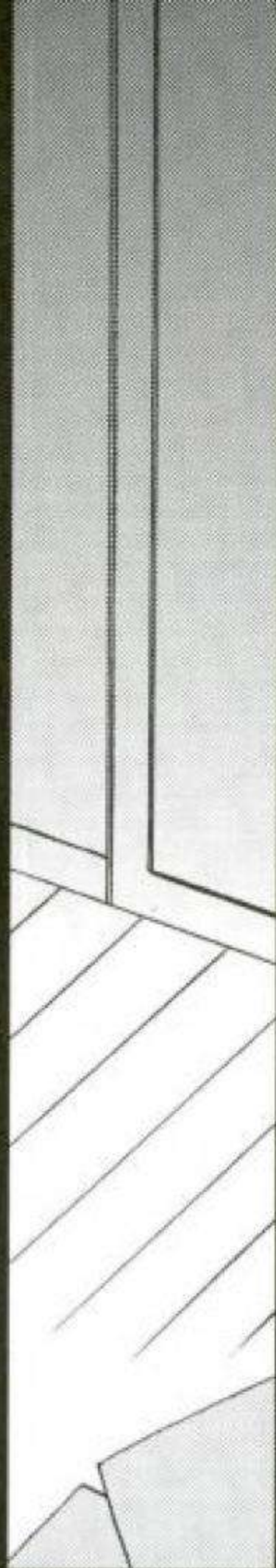
ハイッ

ハイッ





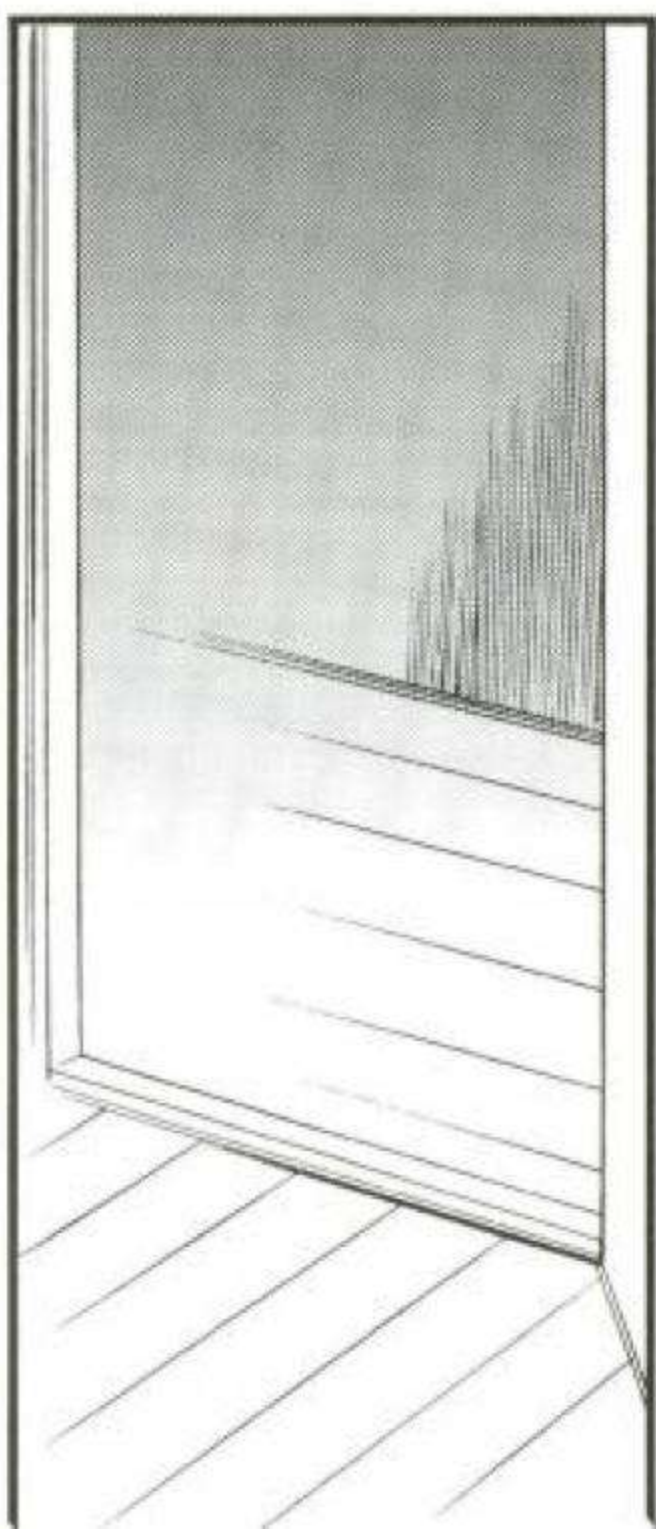




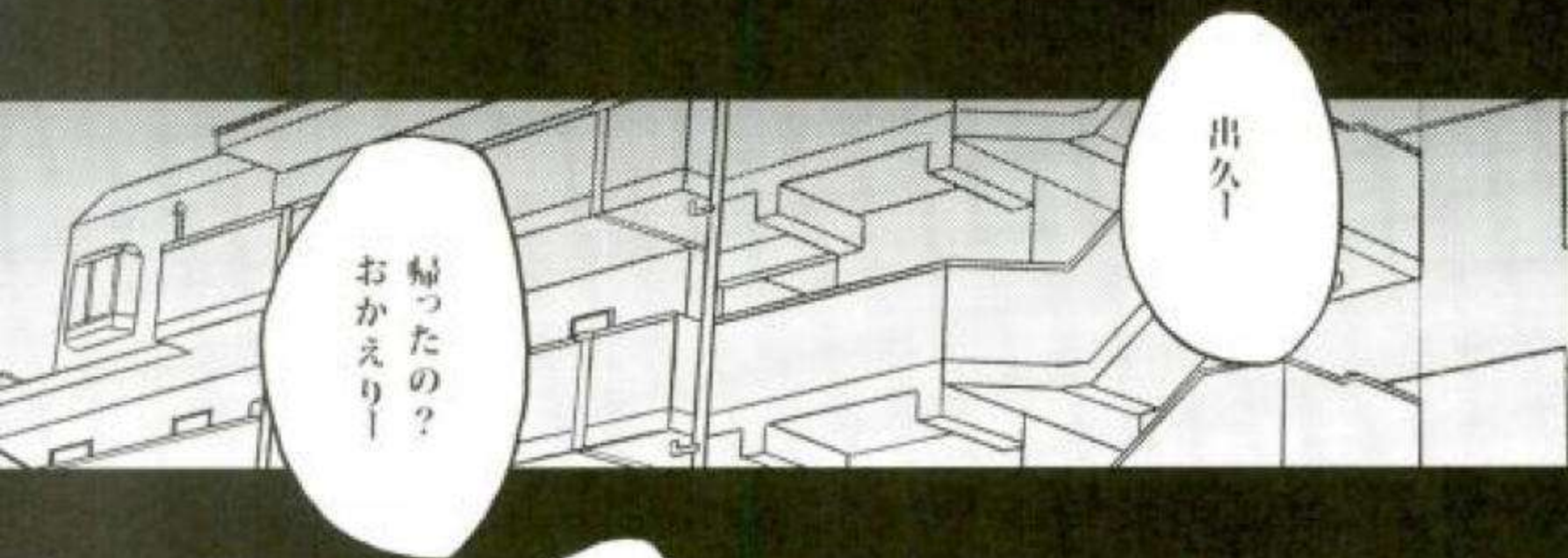
ん…また  
寝ちゃった

かつちゃん  
もう起きようよ









帰ったの？  
おかえりー

出久ー



かつちゃん

グス：

ーッ

セッ

ねえ出久ー

うッ

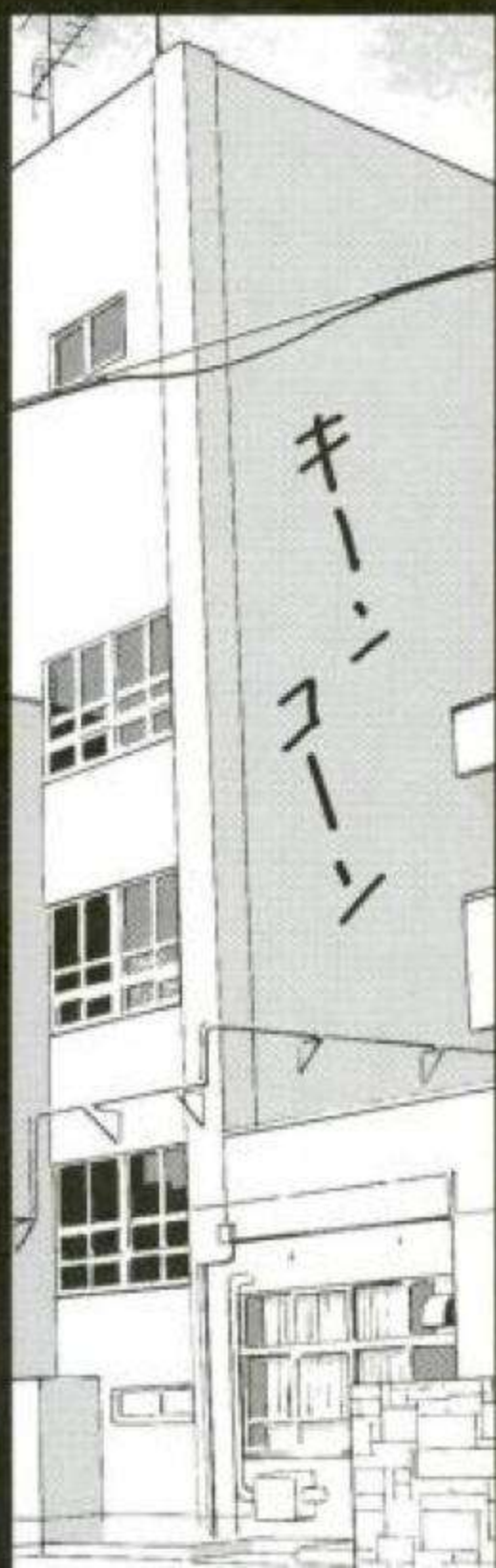


オールマイト

ガス：

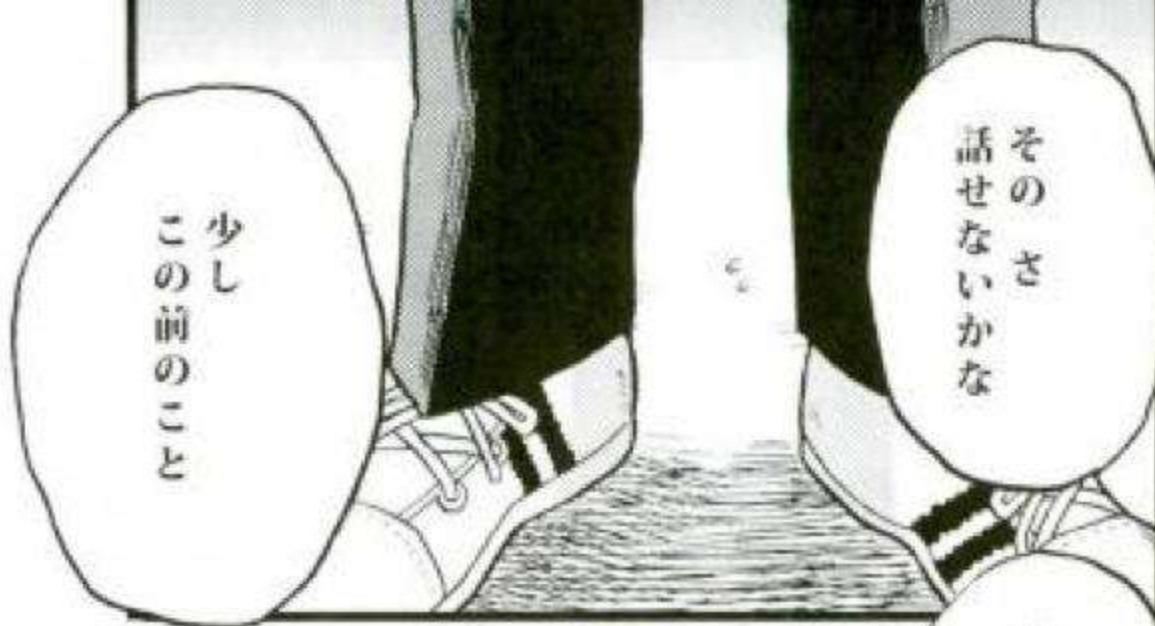


僕は…



キーン・ストーン









僕たちは離れ 歯車は狂ってしまったけれど



俺に二度と  
気やすく  
話しかけんな





僕が君の中に見たものが



君が僕の中に見たものが



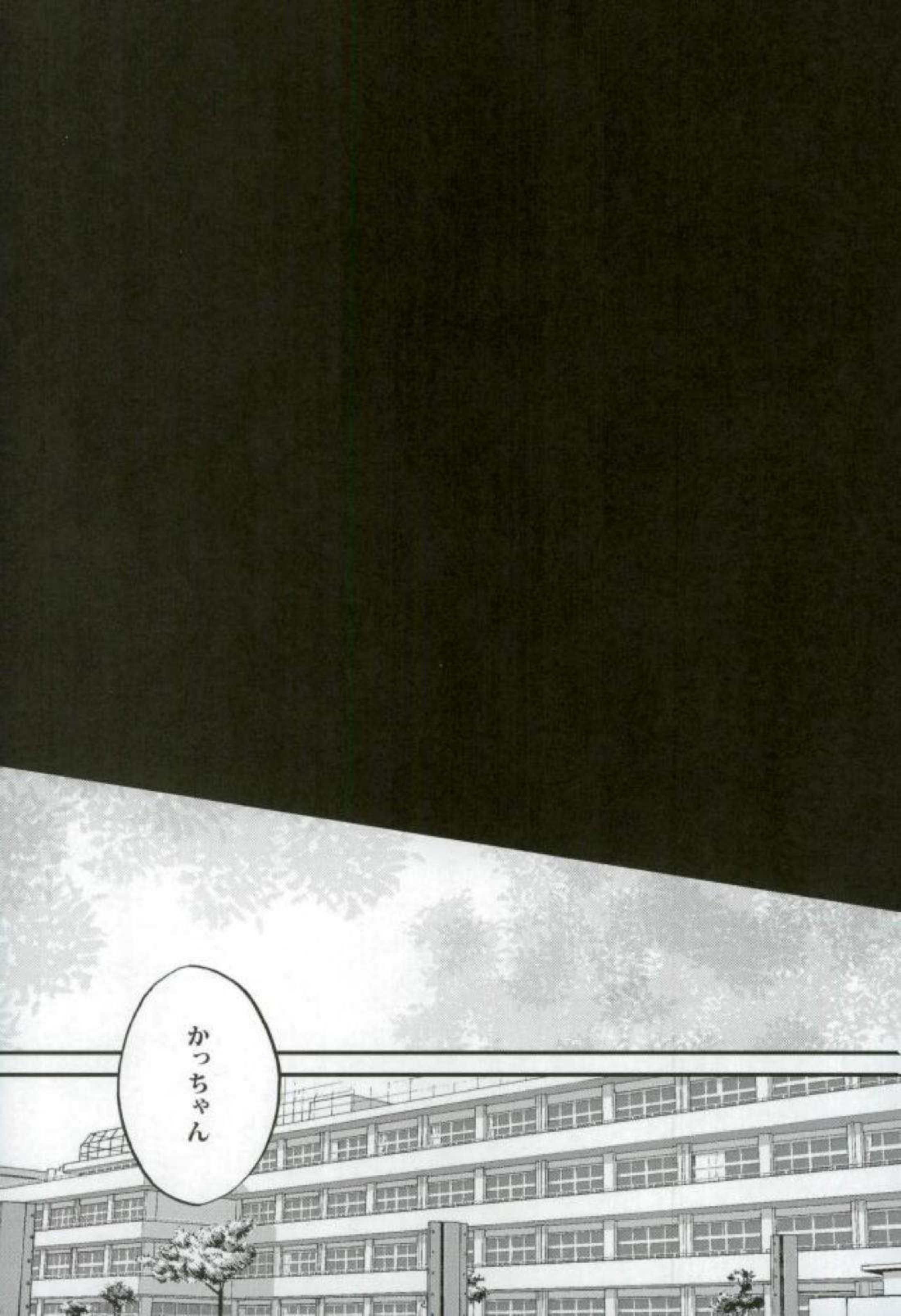


ただ鮮やかに光りだす



かつちゃん！





かつちゃん





今日で中学も  
終わりだけど  
高校 同じだよ

君はその  
嫌…かも  
しれないけど

それであの  
これ…



何故だ

え



なんでお前は

俺を…ッ



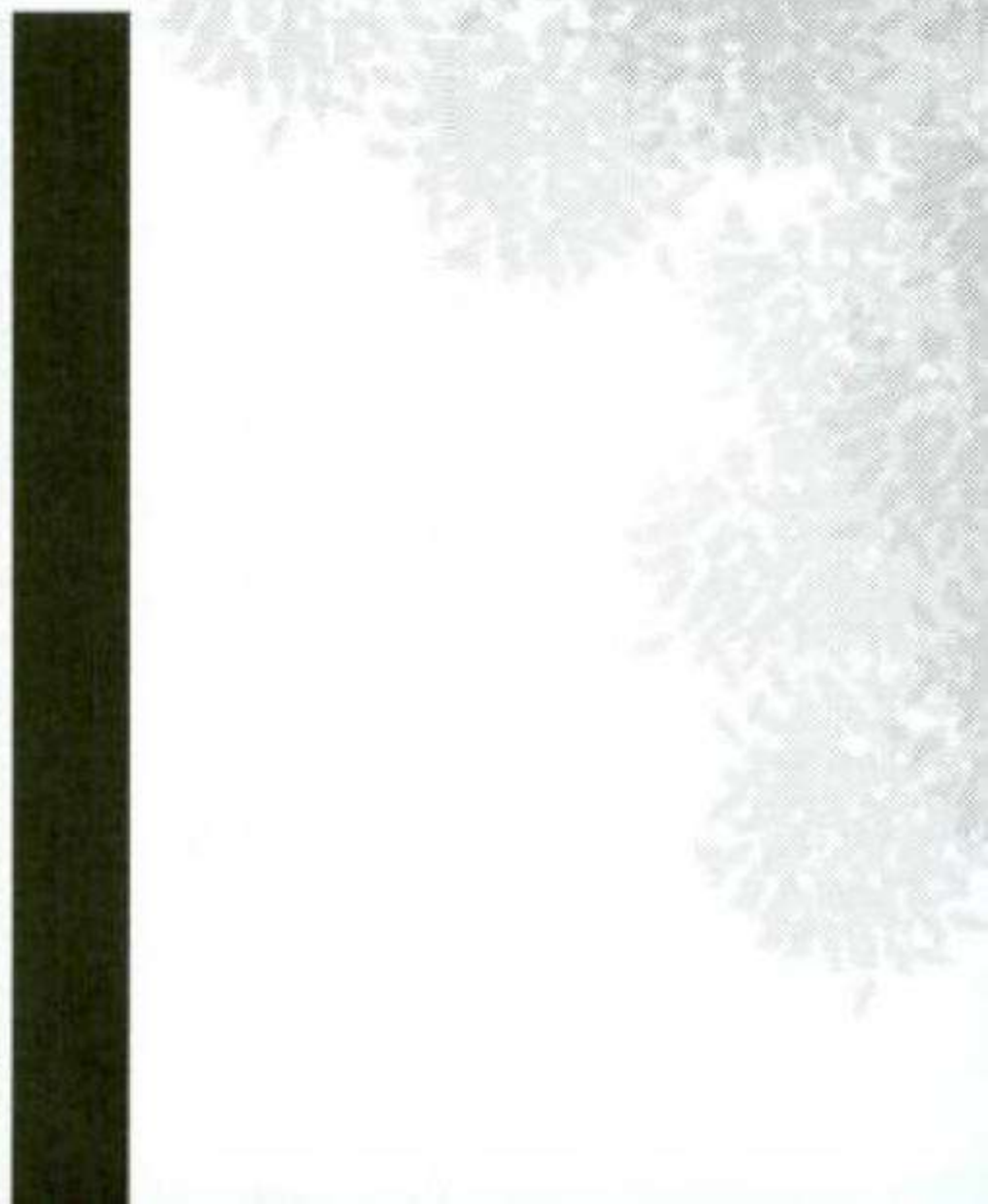
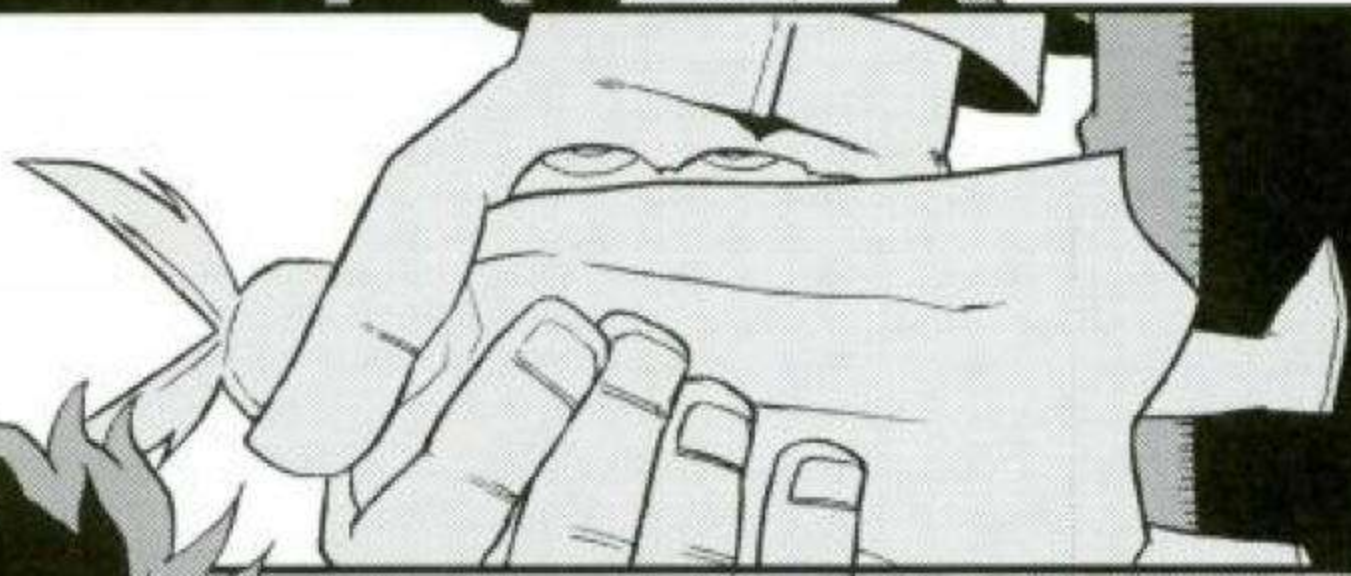
何故 お前は  
あの時  
俺を助けた

なんで  
あの日

お前は俺に  
あんな事をした

なあ  
デケ







おはよう  
緑谷少年

「ほん」と

私が  
きた!

今日からハードな  
訓練だぞしつかり  
食べて頑張ろう

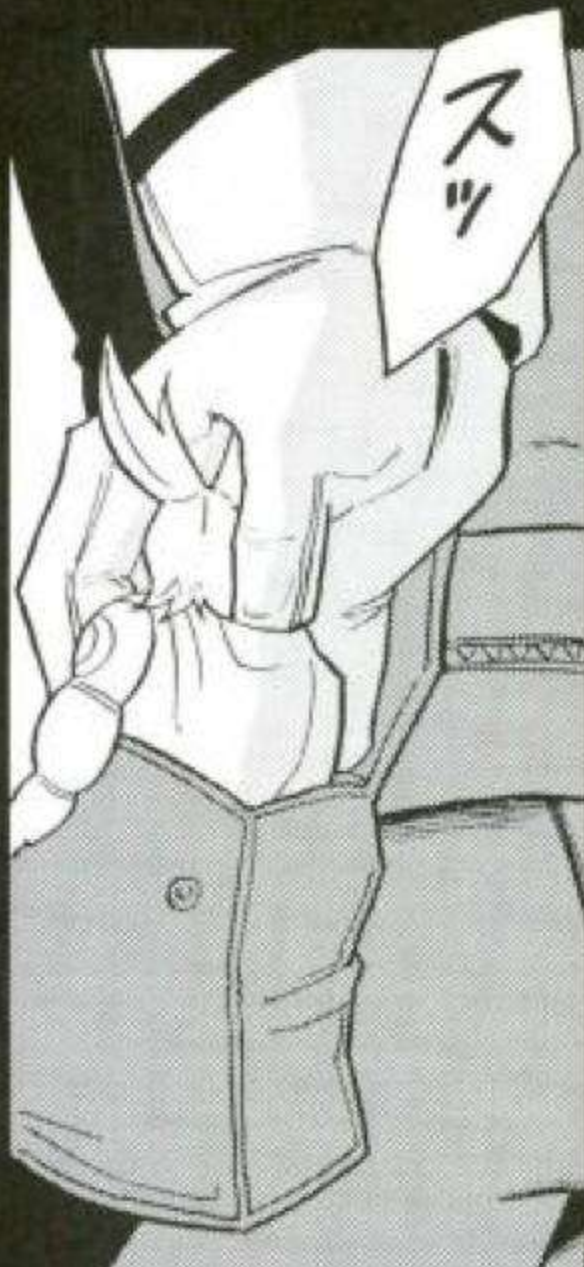
それは…  
私の人形?

あっはい!

これは…  
かつちゃんか  
持っていたもので

大切な  
ものなんです

僕にとって  
かつちゃんに  
とっても  
…きつと







もし今日君に話す事ができたら すべて伝えよう



追い出して  
くれて結構だ

なあおい  
今日俺が  
何かしても  
あんたに  
迷惑はかけねえ



ギョッ



別に  
何してくれても  
構わんよ





お前ならな

僕が見てきた君 君に見てほしい僕 伝えたい事 すべて




えー  
サバイバル  
訓練？


そうだ！  
ペアになって  
それぞれ海や  
山に放り込む

互いの個性で  
協力しあって丸3日  
自力でここまで  
戻ってくる訓練だ  
厳しいぞ






ペアを  
組むのは  
誰でも自由




好きな相手と  
遭難してくれて  
構わないぞ



そいつは  
都合がいいや

へっ…



爆豪少年  
やばい顔  
してるなあ

さあ少年たち



2人っきりの  
サバイバルの  
はじまりだ

その時 燃えるような君の瞳は  
僕に何を伝えてくれるだろう





GIFTKUCHEN

2016.02